

# 宮城県商工会 地区中小企業景況調査報告書

平成29年10月～12月期

## 目 次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

平成30年1月

宮城県商工会連合会

# 中小企業景況調査報告書

平成 29 年 10～12 月期

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内 10 商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、くろかわ商工会、加美商工会、遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、石巻かほく商工会、本吉唐桑商工会
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 144 企業

### 2. 調査対象期間

平成 29 年 10 月～12 月期を対象として、調査時点は平成 29 年 11 月 15 日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	3 1
建 設 業	2 4
小 売 業	4 4
サービス業	4 5
合 計	1 4 4

### 5. そ の 他

本報告書中の D I とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

県下商工会地区における今期(平成 29 年 10 月～12 月期)の調査において、産業全体の業況D I (前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より△2.3 ポイントの悪化で△30.1 (前期△27.8) となった。産業別にみると、製造業が△6.4 (前期 0.0) と△6.4 ポイント悪化、建設業で△8.3 (前期△20.9) と 12.6 ポイント改善、小売業で△56.8(前期△54.5) と△2.3 ポイント悪化、サービス業では△31.8 (前期△25.0) と△6.8 ポイントの悪化であった。

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 売上額(完成工事額)の状況

売上額(完成工事額) D I では、全体として今期は前期 (H29 年 7 月～9 月期) に比べて悪化した。産業別にみると、製造業は△3.4 (前期△12.5) で9.1 ポイントの改善、建設業は△33.4 (前期△20.9) で△12.5 ポイントの悪化、小売業は△61.3 (前期△40.9) と△20.4 ポイント悪化、サービス業では△42.3 (前期△24.4) と△17.9 ポイントの悪化であった。

### ② 採算の状況

採算D I についても、全体として今期は前期に比べて悪化した。産業別にみると製造業で△25.8 (前期△6.4) と△19.4 ポイント悪化、建設業で△29.1 (前期△25.0) と△4.1 ポイント悪化、小売業で△48.9 (前期△44.2) と△4.7 ポイント悪化、サービス業では△42.2 (前期△33.3) と△8.9 ポイント悪化した。

### ③ 設備投資の状況

新規投資の実施比率は、製造業では 25.8%で前期比 3.9 ポイント増加、建設業では 8.3%で前期比△4.2 ポイント減少、小売業では 6.8%と前期と同じ、サービス業では 20.0%と前期比 7.0 ポイント増加した。

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

H29年12月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期（H29年9月調査）と比較して製造業が5ポイント改善のプラス15、非製造業は1ポイント改善のプラス9だった。先行きは製造業、非製造業共に今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では製造業で改善、建設業・小売業・サービス業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業で全国・東北以上、建設業・小売業・サービス業では全国・東北以下であった。

表－1 売上額（完成工事額）の状況（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 8.4	△ 5.0	△ 9.9	△ 10.1	△ 12.5	△ 3.4
建 設 業	△ 10.8	△ 6.9	△ 12.4	△ 23.5	△ 20.9	△ 33.4
小 売 業	△ 35.0	△ 39.6	△ 40.4	△ 48.7	△ 40.9	△ 61.3
サービス業	△ 18.3	△ 22.6	△ 24.9	△ 27.0	△ 24.4	△ 42.3

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較でも、全業種で悪化した。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、全業種で全国・東北以下であった。

表－2 採算の状況（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 11.8	△ 11.2	△ 14.0	△ 21.4	△ 6.4	△ 25.8
建 設 業	△ 14.7	△ 12.6	△ 16.4	△ 15.1	△ 25.0	△ 29.1
小 売 業	△ 30.3	△ 35.1	△ 33.7	△ 43.0	△ 44.2	△ 48.9
サービス業	△ 21.8	△ 27.1	△ 26.0	△ 32.8	△ 33.3	△ 42.2

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（H30年1月～3月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で6.7ポイントの改善、建設業で8.4ポイントの改善、小売業で18.5ポイントの改善、サービス業でも15.6ポイントの改善見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で9.7ポイントの改善、建設業で8.3ポイントの改善、小売業で12.3ポイントの改善、サービス業で△2.2ポイントの悪化見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では、売上は全国で悪化、宮城で改善、採算は全国で若干の改善、宮城で改善の見通しとなった。建設業では、売上は全国で悪化、宮城で改善、採算は全国で若干の悪化、宮城で改善の見通しとなった。小売業では、売上は全国・宮城で改善の見通し、採算でも共に改善見通しとなった。サービス業では、売上では全国・宮城で改善の見通し、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通しとなった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 5.0	△ 6.7	△ 3.4	3.3
建 設 業	△ 6.9	△ 13.8	△ 33.4	△ 25.0
小 売 業	△ 39.6	△ 32.5	△ 61.3	△ 42.8
サービス業	△ 22.6	△ 18.3	△ 42.3	△ 26.7

表－4 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 11.2	△ 10.9	△ 25.8	△ 16.1
建 設 業	△ 12.6	△ 13.2	△ 29.1	△ 20.8
小 売 業	△ 35.1	△ 31.6	△ 48.9	△ 36.6
サービス業	△ 27.1	△ 23.1	△ 42.2	△ 44.4

## 2. 県下産業別の景況

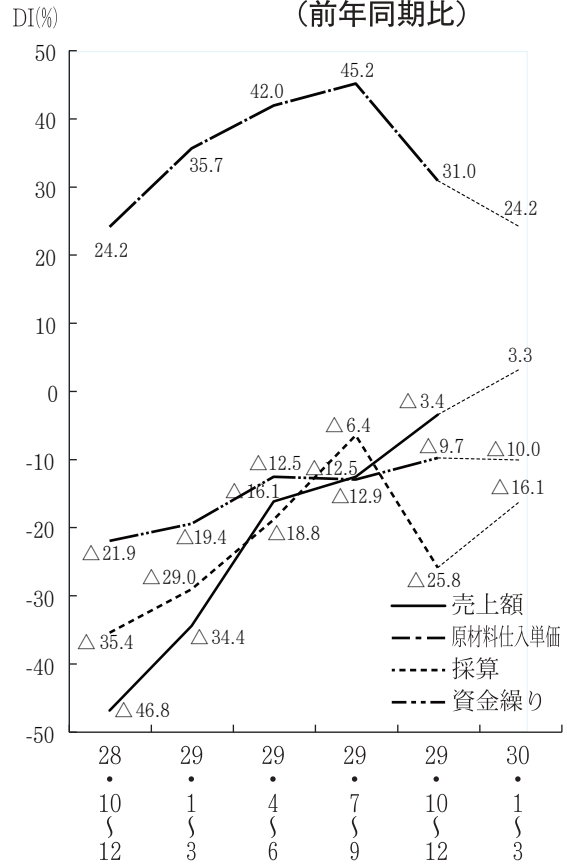
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△3.4（前期△12.5）となり9.1ポイント前期より改善、採算D Iは今期△25.8（前期△6.4）で△19.4ポイントの悪化、資金繰りD Iは今期△9.7（前期△12.9）で3.2ポイントの改善となった。

原材料仕入単価は今期31.0（前期45.2）と△14.2ポイントの下落となった。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



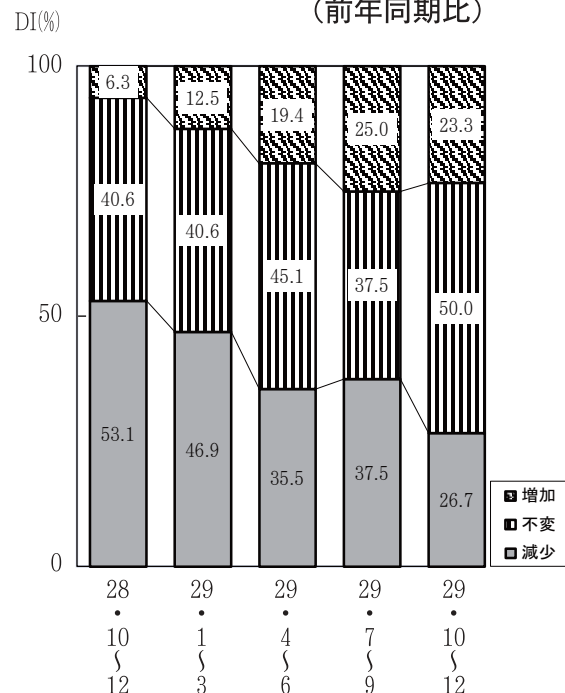
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の23.3%（前期25.0%）と△1.7ポイント減少し、「減少」と回答した企業も26.7%（前期37.5%）と△10.8ポイント減少した。

結果として売上（加工）額D Iは△3.4（前期△12.5）となり前期比9.1ポイント改善した。

図1-2 売上（加工）額の状況  
(前年同期比)

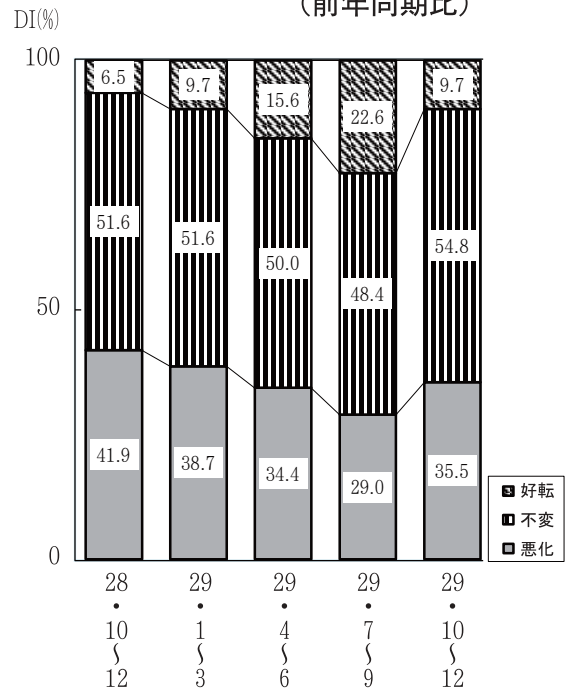


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は全体の 9.7% (前期 22.6%) で△12.9 ポイント減少し、「悪化」と回答した企業は 35.5% (前期 29.0%) で 6.5 ポイント増加した。

その結果、採算 D I は△25.8 (前期△6.4) で前期比△19.4 ポイント悪化した。

**図 1 - 3 採算の状況 (前年同期比)**



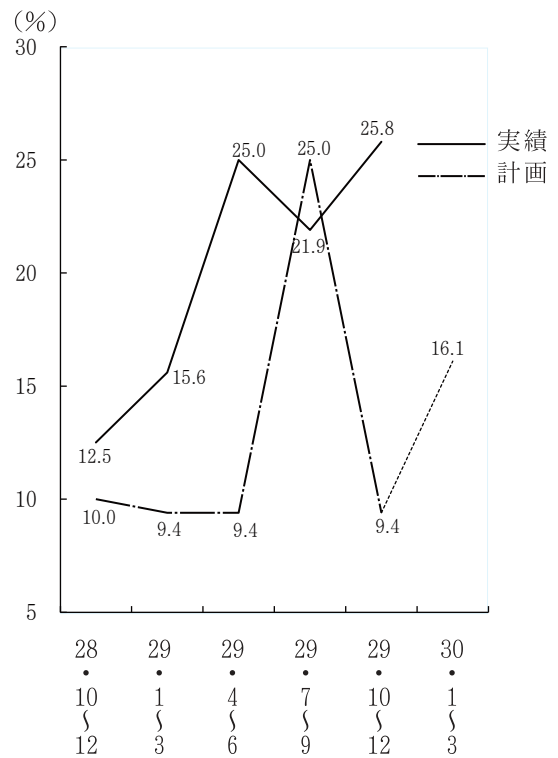
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 25.8% (前期 21.9%) で、前期と比べ 3.9 ポイント増加した。

その設備内容は、土地、生産設備であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 16.1% で、その設備内容は、工場建物、生産設備となっている。

**図 1 - 4 設備投資の状況**

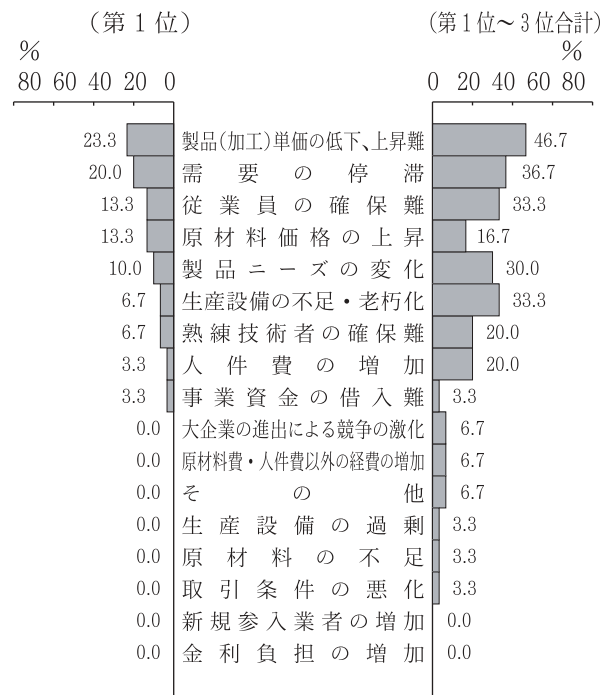


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「製品（加工）単価の低下、上昇難」で23.3%、次いで「需要の停滞」が20.0%、「従業員の確保難」と「原材料価格の上昇」が同率13.3%が続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「製品（加工）単価の低下、上昇難」が46.7%（複数回答計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」が36.7%、「従業員の確保難」と「生産設備の不足・老朽化」が同率33.3%が続いた。

図1-5 経営上の問題点



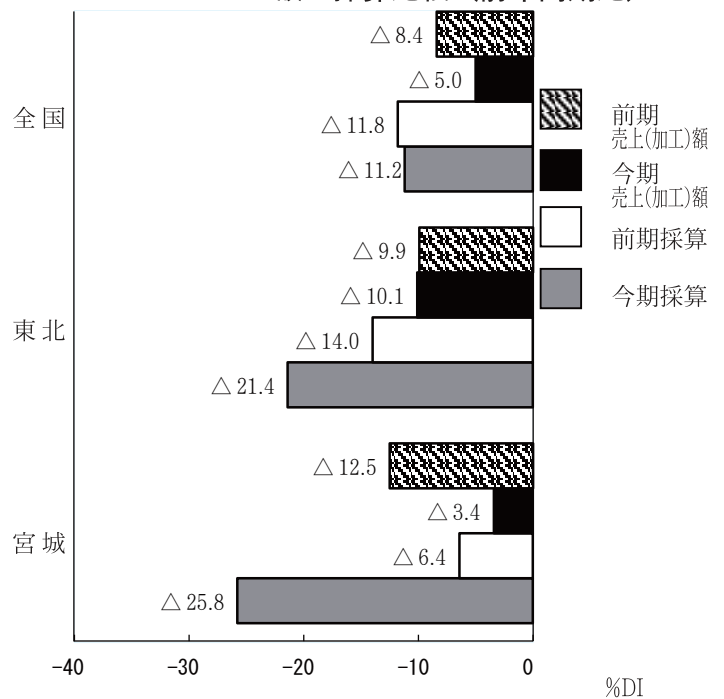
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上（加工）額D Iでは全国で改善、東北で若干の悪化、宮城では改善した。その改善度は宮城、全国の順であった。

採算D Iの比較では全国で若干の改善、東北、宮城で悪化した。その悪化度は宮城、東北の順であった。

本県回答事業者からは「新規客先との取引が増大しつつある。既存の業種とは別の分野なので、期待ができそう」（金属加工業）や、「技術者が減少して受注に制限をかけている状況」（看板等製造業）などのコメントがあった。

図1-6 全国東北宮城売上（加工）額・採算比較（前年同期比）





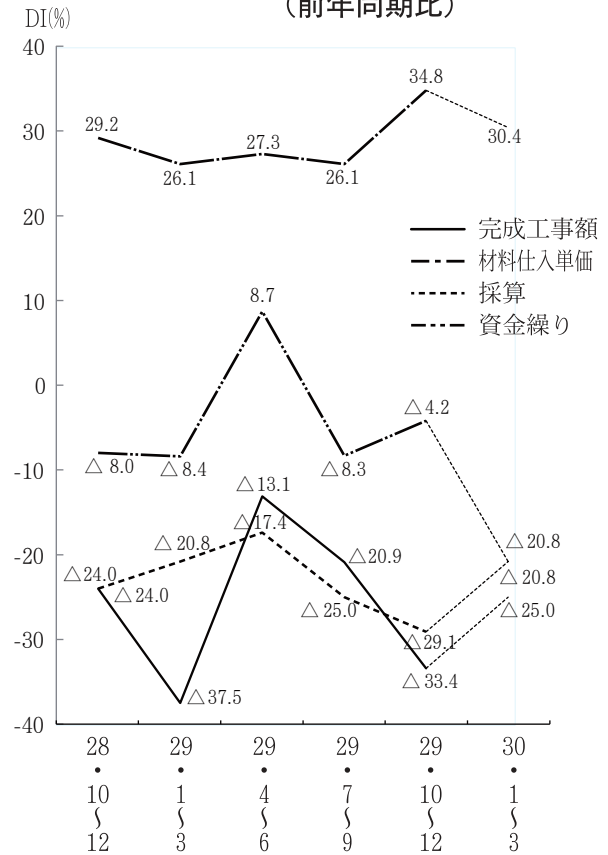
## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△33.4（前期△20.9）と前期より△12.5ポイント悪化、採算D Iも今期△29.1（前期△25.0）で△4.1ポイント悪化、資金繰りD Iは今期△4.2（前期△8.3）と4.1ポイント改善した。

材料仕入単価D Iは今期 34.8（前期 26.1）と前期より 8.7ポイント上昇した。

図 2 - 1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



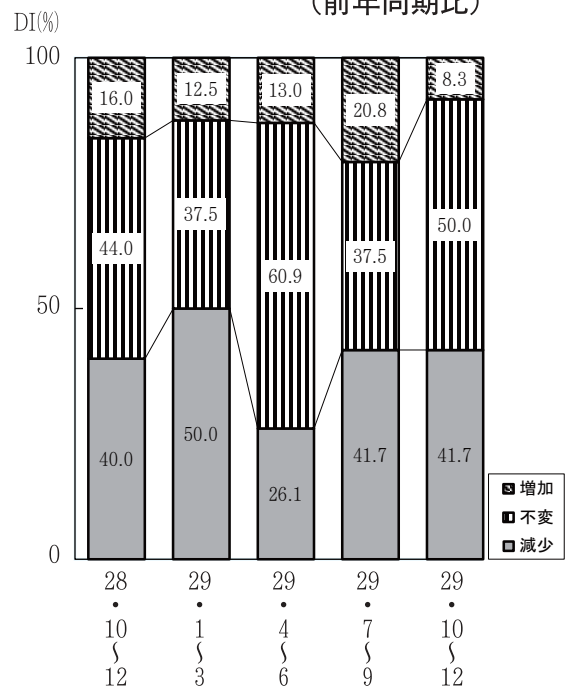
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の 8.3%（前期 20.8%）で△12.5ポイント減少、「減少」と回答した企業は 41.7%（前期 41.7%）と前期と同じであった。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△33.4（前期△20.9）と△12.5ポイント前期より悪化した。

図 2 - 2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

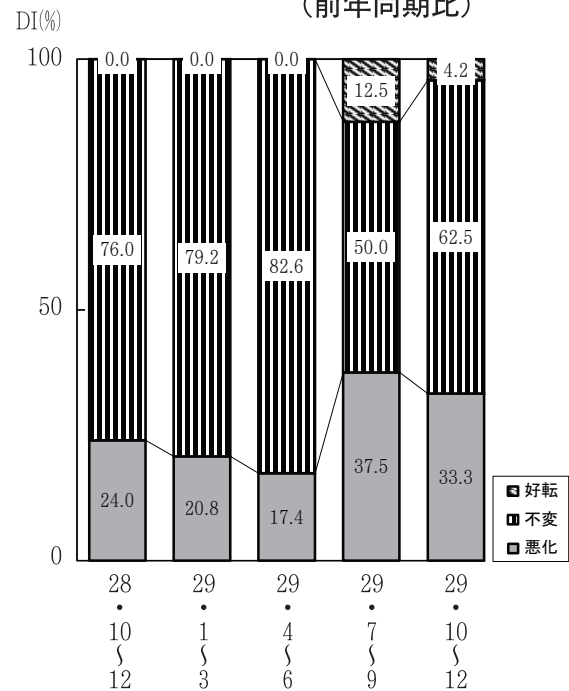


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 4.2% (前期 12.5%) で△8.3 ポイント減少、「悪化」と回答した企業も全体の 33.3%(前期 37.5%)で△4.2 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△29.1 (前期△25.0) と△4.1 ポイント悪化した。

図 2 - 3 採算の状況  
(前年同期比)



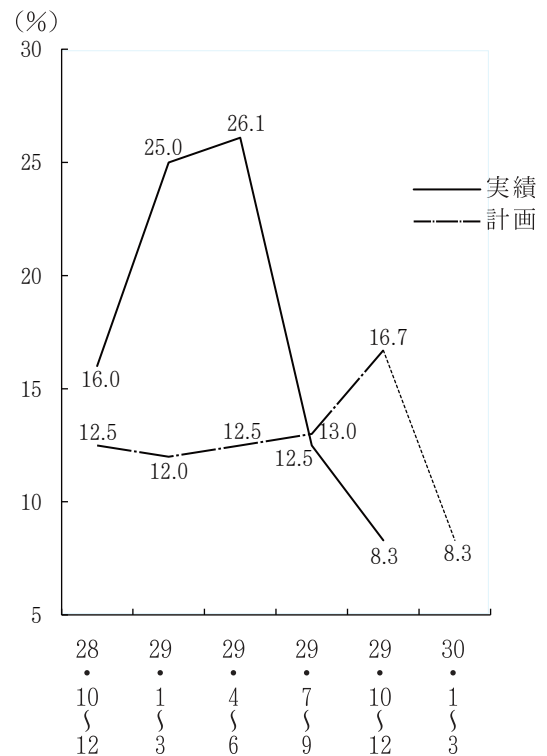
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 8.3% (前期 12.5%) で、前期より△ 4.2 ポイント減少した。

その設備内容は、土地、車両・運搬具であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 8.3%で、その設備内容は、建物、車両・運搬具、OA機器、福利厚生施設となっている。

図 2 - 4 設備投資の状況

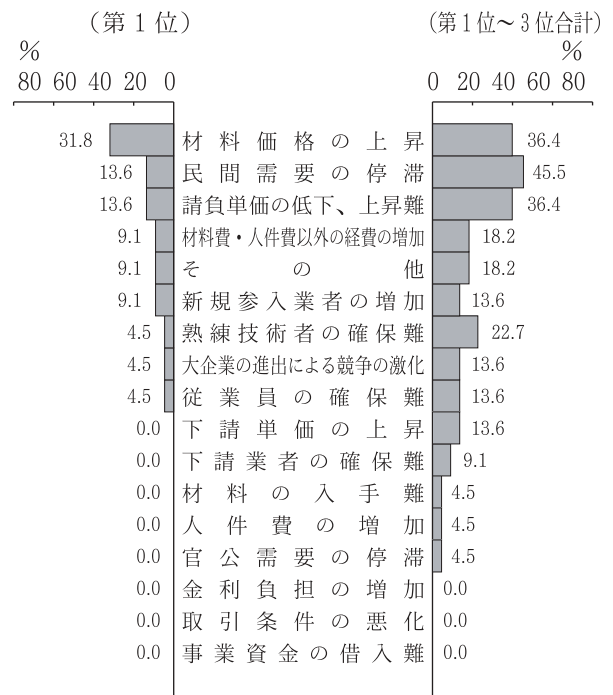


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「材料価格の上昇」が31.8%で、次いで「民間需要の停滞」と「請負単価の低下、上昇難」が同率13.6%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「民間需要の停滞」が45.5%（複数回答計、以下同じ）で最上位、次いで「材料価格の上昇」と「請負単価の低下、上昇難」が同率36.4%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、売上額D Iは全国で改善、東北、宮城で悪化した。

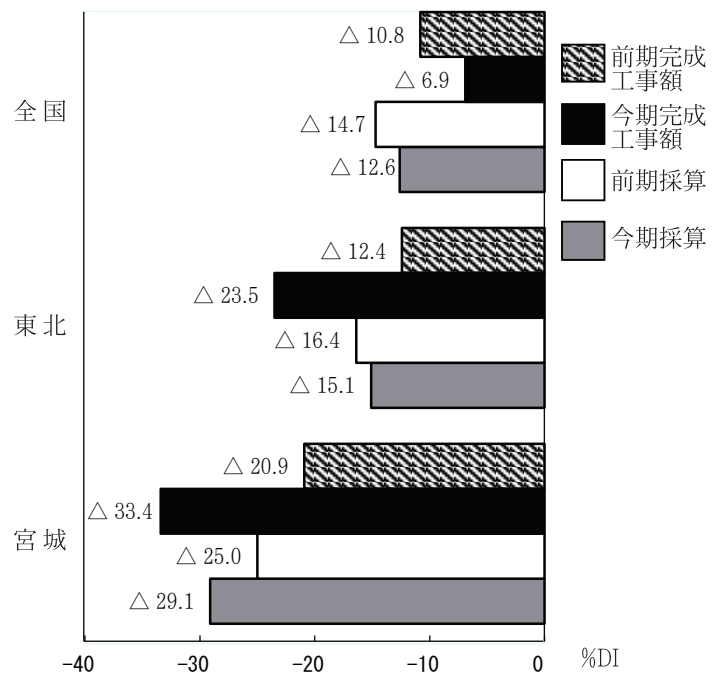
その悪化度は宮城、東北の順であった。

採算D Iの比較では、全国、東北で改善、宮城で悪化した。

その改善度は全国、東北の順であった。

本県回答事業所からは「建設石材の需要が少し増加している」や、「民間受注が徐々に減少してきているものの、売上は震災以前よりは好調」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城売上完成工事額・採算比較（前年同期比）



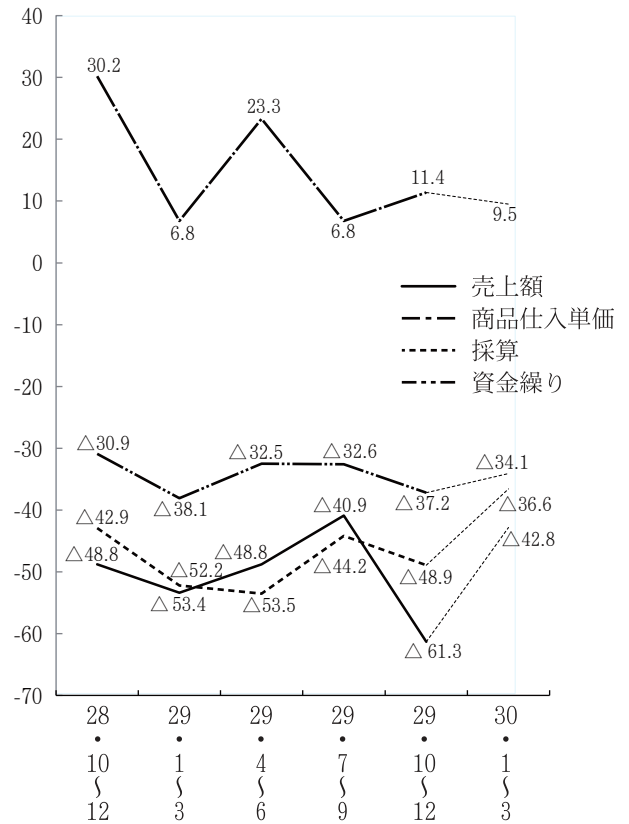
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△61.3（前期△40.9）と前期に比べ△20.4ポイントの悪化、採算D Iは今期△48.9（前期△44.2）で△4.7ポイント悪化、資金繰りD Iでも今期△37.2（前期△32.6）で△ 4.6ポイント悪化した。

商品仕入単価D Iは今期 11.4（前期 6.8）となり、4.6ポイント上昇した。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



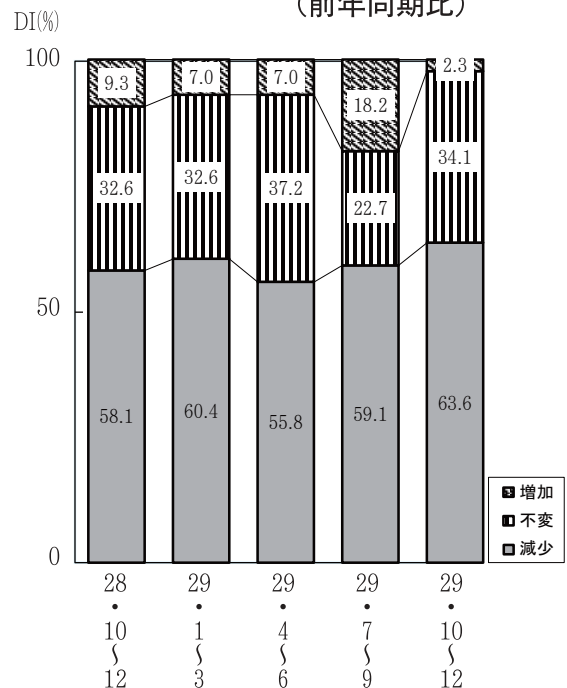
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の2.3%（前期18.2%）で△15.9ポイント減少、「減少」の回答は今期は全体の63.6%（前期59.1%）で4.5ポイント増加した。

その結果、売上額D Iは今期△61.3（前期△40.9）と△20.4ポイント前期より悪化した。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

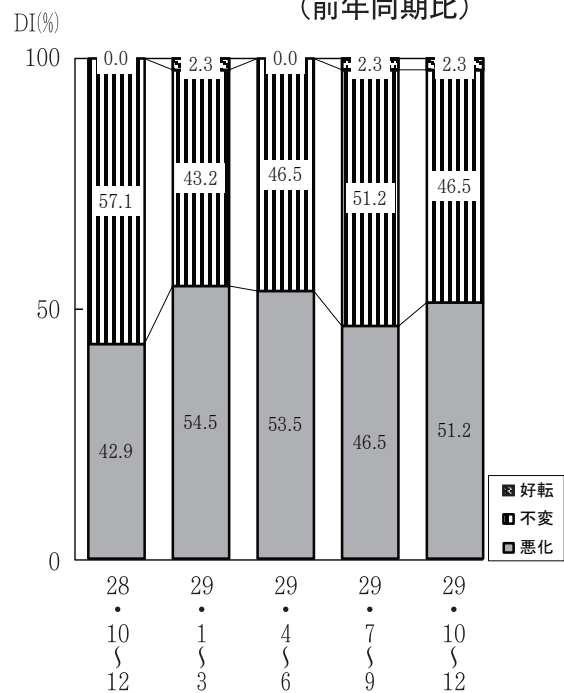


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の 2.3%（前期 2.3%）と前期と同じ、「悪化」の回答は、今期は全体の 51.2%（前期 46.5%）で 4.7 ポイント増加した。

その結果、採算 D I は今期△48.9（前期△44.2）で、前期より△4.7 ポイント悪化した。

図 3 - 3 採算の状況  
(前年同期比)



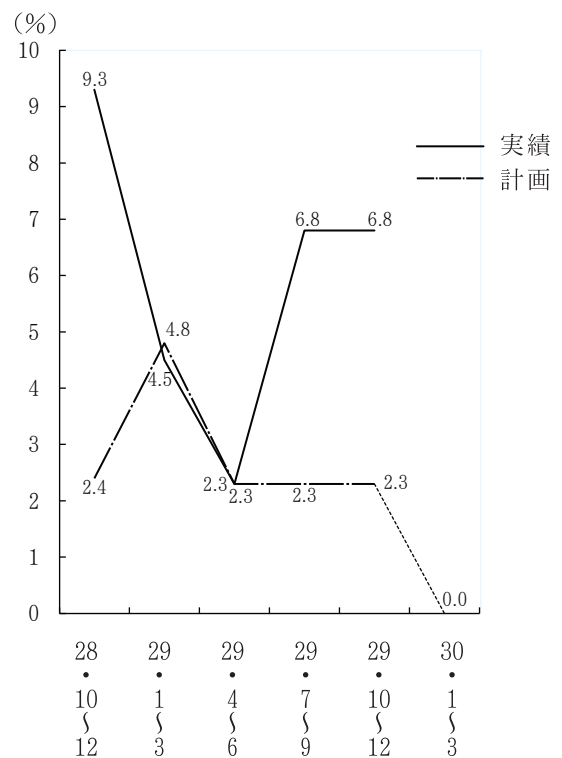
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の 6.8%（前期 6.8%）で、前期と同じであった。

その設備内容は、販売設備、車両・運搬具であった。

来期に設備計画している企業は今回はゼロである。

図 3 - 4 設備投資の状況

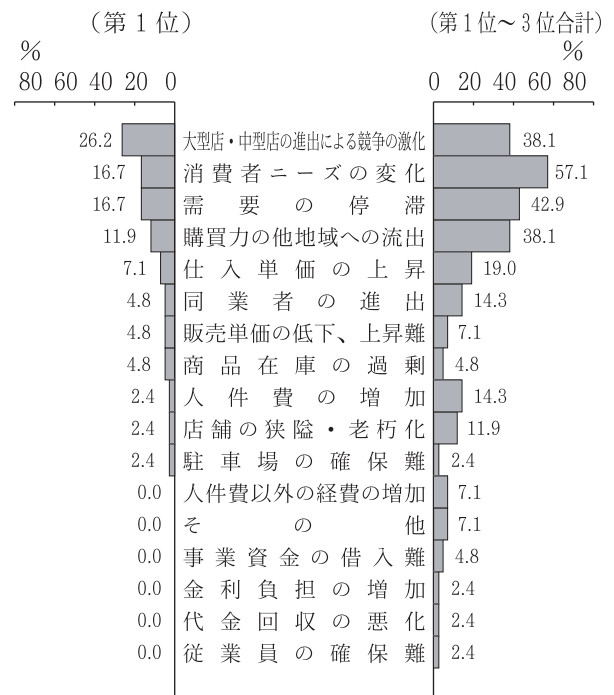


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「大型店・中型店の進出による競争の激化」で26.2%、次いで「消費者ニーズの変化」と「需要の停滞」が同率16.7%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「消費者ニーズの変化」が最上位の57.1%(複数回答合計)で、次いで「需要の停滞」が42.9%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」と「購買力の他地域への流出」が同率38.1%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上DIは全区分で悪化した。

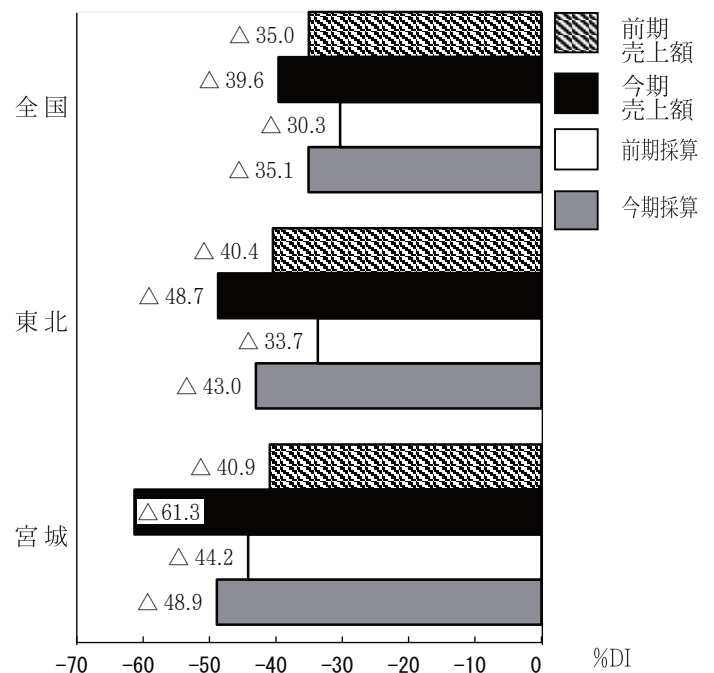
その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIでも全区分で悪化した。

その悪化度は東北、全国、宮城の順であった。

本県回答事業所から「今まで取り扱っていない商品を仕入れて売ること、新しいお客様が増えた」(衣料品販売)や「販売品の選択も、商品開発も、時代の流れについていく必要」(食品販売)などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較(前年同期比)



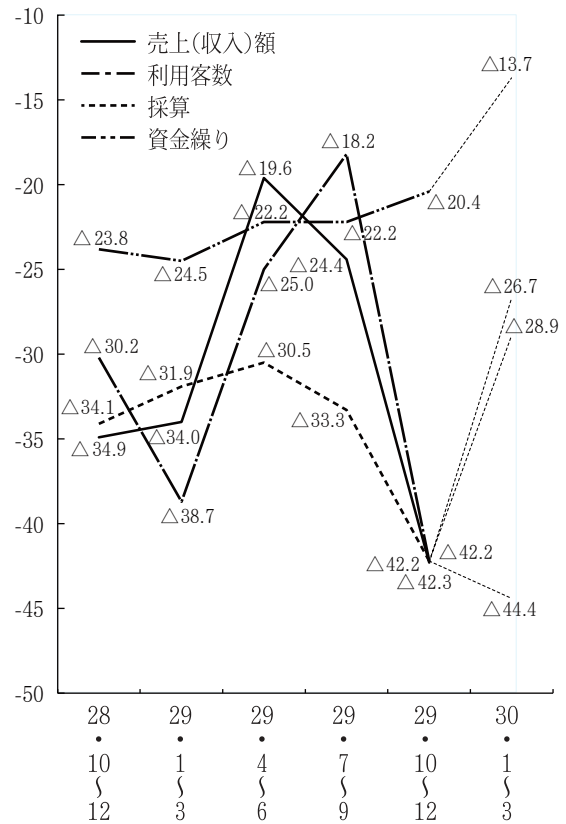
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△42.3（前期△24.4）で△17.9ポイント悪化、採算D Iも今期△42.2（前期△33.3）で△8.9ポイント悪化、資金繰りD Iは今期△20.4（前期△22.2）と1.8ポイント改善した。

利用客数D Iは今期△42.2（前期△18.2）で△24.0ポイント下落した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



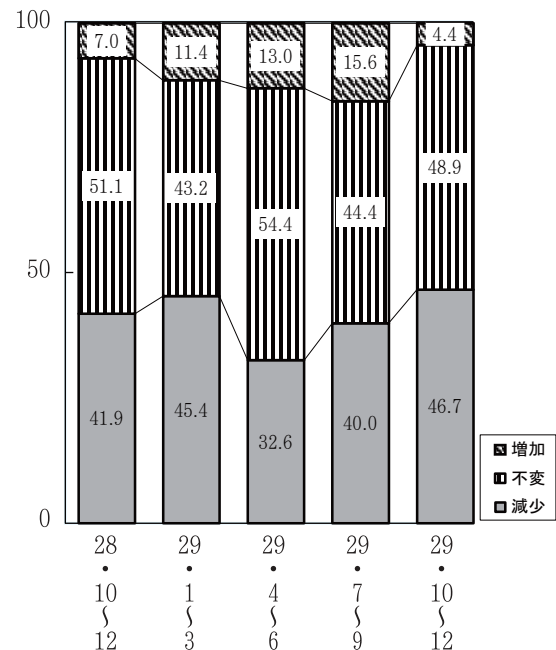
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の4.4%（前期15.6%）で△11.2ポイント減少、「減少」の回答は今期46.7%（前期40.0%）で6.7ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△42.3（前期△24.4）で前期より△17.9ポイント悪化した。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)

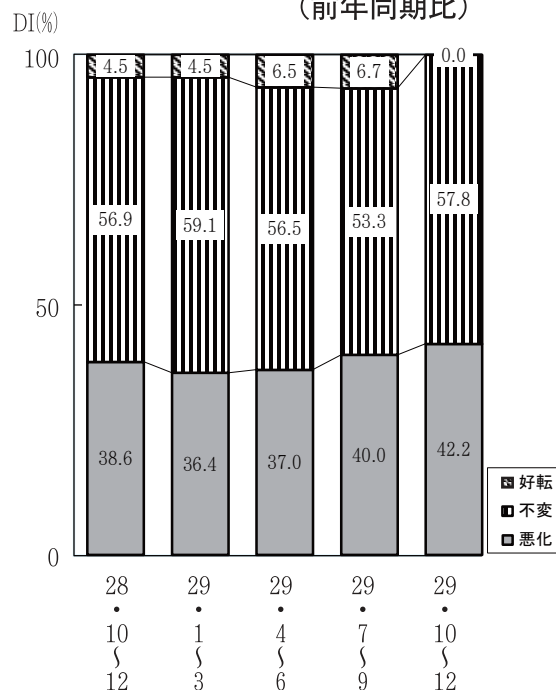


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の0.0%（前期6.7%）で△6.7ポイント減少、「悪化」と回答した企業は今期42.2%（前期40.0%）と2.2ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△42.2（前期△33.3）で前期より△8.9ポイント悪化した。

図4-3 採算の状況  
(前年同期比)



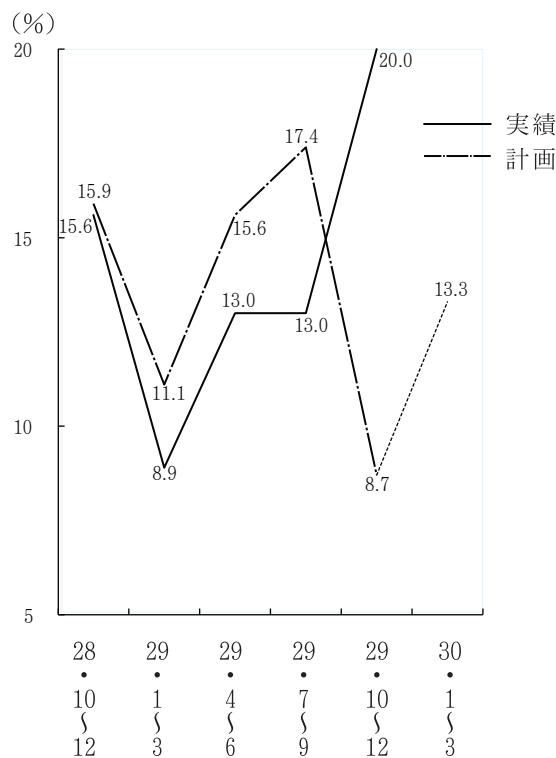
### (c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の20.0%（前期13.0%）で、前期より7.0ポイント増加した。

その設備内容は、土地、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設、その他であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の13.3%であり、その設備内容は、土地、建物、サービス、付帯施設、OA機器となっている。

図4-4 設備投資の状況



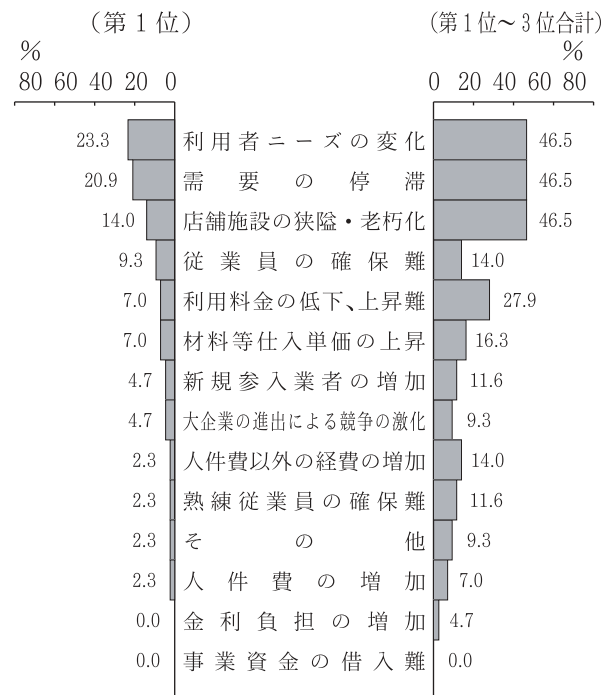


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「利用者ニーズの変化」で23.3%、次いで「需要の停滞」が20.9%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が14.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「利用者ニーズの変化」、「需要の停滞」、「店舗施設の狭隘・老朽化」が同率46.5%（複数回答合計、以下同じ）で最上位であった。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上DIは全区分で悪化となった。

その悪化度は、宮城、全国、東北の順であった。

採算DIでも全区分で悪化となった。

その悪化度は、宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは「自社の認知度が増しており、客数が増えてきている。働き手を増やし、また物販商品の開発も進めたい」（飲食業）とのコメントや、「客単価があがらないなか、仕入れ価格が上昇している」（旅館業）などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上（収入）額・採算比較（前年同期比）

